

米原警察署協議会議事録

開催日時	令和5年2月20日（月）午前10時～午後0時	
開催場所	米原警察署 4階会議室	
出席者	委員	松田美穂子会長、藤本敦子副会長、八田能雄委員、川瀬秀樹委員
	警察	署長、次長兼警務課長兼警備課長、会計課長、留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警務係長
議事概要	<p>1 会長挨拶</p> <p>会長から、「昨年の警察署協議会においても、米原市内の犯罪・交通事故の発生が前年と比較し著しく増加していることを伺っているので、安心して暮らせる町づくりに向け、本日も住民目線で様々な提言をさせていただきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から、「昨年は、米原市内の犯罪及び交通事故の発生が著しく増加し、本年もその傾向にあることを受け、今月からプロジェクトチームを発足させ、犯罪抑止の取組を強化しているところである。本日も忌憚のない意見等をお願いする。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 議題「令和4年の犯罪情勢と今後の犯罪抑止活動方針」</p> <p>警察から、令和4年の犯罪情勢と今後の犯罪抑止活動方針について説明があった。その際、委員から、「防犯危機意識を高める取組として、実演を交えた啓発活動が効果的ではないか。」、「住宅や車両等の施錠の徹底は地域によって定着に差異があるため、引き続き啓発活動を強化してもらいたい。」旨の意見がなされ、警察から、「当署では、創作したラップ音楽を奏でた防犯啓発動画を放映するなどの取組も行っており、今後も工夫を凝らした啓発を実施していく。」、「以前、空き家を対象とした防犯診断を実施したことがあり、今後も取組を検討していきたい。」旨の説明がなされた。</p> <p>そのほか、委員から、「光熱費の高騰が続けば、夏期は節電により窓を開放する家庭も増え、住宅侵入事件の発生が懸念されるなど、社会情勢の変化が治安に与える影響も拭えない。」、「近所への短時間による外出時、あるいは在宅時であっても施錠の励行は必要であり、自宅の敷地内にある自転車</p>	

への施錠にも習慣が求められる。」、「犯罪増加には、近所付き合いが減るなどの地域の希薄化も影響していると考えられる。」旨の発言があり、警察から、「昨年発生した窃盗被害のうち、無施錠の割合が多くを占めているため、引き続き防犯意識を高め、防犯の基本となる施錠の定着を図る取組を強化していく。」旨の説明があった。また、委員から、「米原駅周辺は防犯カメラの設置台数が少ないため、引き続き設置に向けた働き掛けをしていただきたい。」旨の要望があった。

(2) 議題「令和4年の交通事故状況と本年の取組」

警察から、「令和4年の交通事故状況と本年の取組」について説明があった。その際、委員から、「深夜帯の国道21号は、高速走行するトラックが散見される。また、高齢者の交通事故防止の一環として、運転免許を保有する高齢者に対し、高齢者講習の機会を増やすべきである。」旨の意見がなされ、警察から、「交通事故防止に関する貴重な意見として、今後の取組の参考としたい。」旨の説明がなされた。